

## ふれあいまつりに参加しました

今年もいよいよ残りわずかとなってまいりましたが、皆様いかがお過ごしですか？

11月6日、当院の開院記念の「ふれあいまつり」が開催されました。5階西病棟では、地域の皆様にBFHや、当院の母乳育児への取り組みをもっとよく知ってもらうため、「BFH紹介コーナー」を出展しました。

今回は「ふれあいまつり」に参加したスタッフの感想をお届けします。

ふれあいまつり 2016 には延べ 1600 名もの地域の方々にご参加くださいました。産科からもBFH(Baby Friendly Hospital:赤ちゃんにやさしい病院)紹介コーナーとして、お産の流れを掲示し、赤ちゃん人形抱っこ体験や、妊婦体験、災害時に使用するレスキューママの展示など様々なイベントを用意しました。当院でお産をした方をはじめ、これから出産を控えている方、おじいちゃん、おばあちゃん、子育て世代のお父さん、お母さん、元気いっぱいのお子さん方。たくさんの方が当コーナーにも遊びにきてくれました！！



およそ 10kg もある妊婦ジャケットを着たパパは「こんなに重い？座ったり、靴下履くのは難しいね。かがむのもひどい！」と妊婦さんの気持ちを少し感じられたようでした。4歳位のお子さんはお産の経過をみて「僕はこうやってママから出てきたの？」とお母さんに聞き、「そうだよ。こうやって産まれてきたんだよ」と笑顔で話をしていました。初めは赤ちゃんを「抱っこしない！」と隠れていた男の子も恐る恐るほっぺに触って、頭を撫でて安心すると、「抱っこしてみる！」と3kgの赤ちゃん人形を力いっぱい抱っこしてくれました。子育てを終えたおじいちゃんおばあちゃんは抱っこの仕方とても慣れていて、「懐かしいね〜、かわいいね」と赤ちゃんを見つめながら話しかけている姿が印象的でした。

当院でも年間およそ 900 件のお産があります。地域で生活する妊婦さんや赤ちゃんとその家族がより安心して暮らせるよう私たちも力になりたいと、改めてそう感じたふれあいまつりでした。

5階西病棟 助産師 本間